

Web エミュレータ
インストールマニュアル
(4 版)

株式会社 スタンダード



項目

1. IIS service のインストール
2. アプリケーションのインストール
3. JDK1.4 for Windows のインストール
4. Webemulator のインストール



1. IIS のインストールと設定

Administrator 権限で作業を行ってください。

インストール

START → コントロールパネル → プログラムの追加と削除 → Windows コンポーネントの追加と削除を開き、インターネットインフォメーションサービス (IIS) にチェックをつけ (灰色) 次へをクリックします。Windows コンポーネントウィザードの完了ウインドウが表示されたら完了をクリックします。

インストール後の設定

コントロールパネル → 管理ツール → インターネット インフォメーション サービス → 既定の Web サイトを右クリックして、プロパティを開きます。

「ホームディレクトリ」タブをクリックし、C:\inetpub\wwwroot になっていることを確認します。

「ドキュメント」タブをクリックし、index.asp を追加します。

ディレクトリのセキュリティ設定

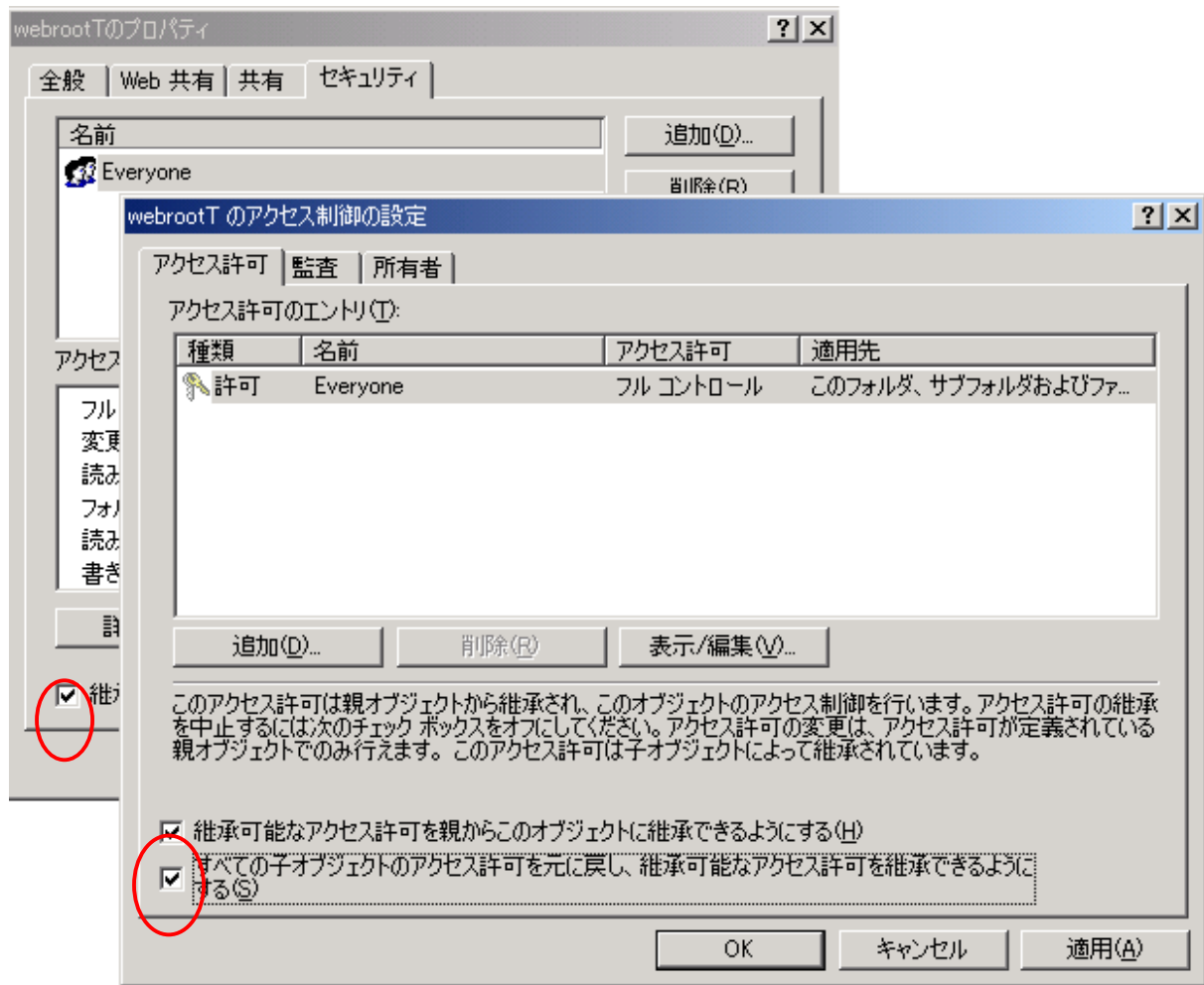
エクスプローラで、wwwroot を右クリックしプロパティを開き、セキュリティタブを選択します。

名前に Everyone があることを確認します。なければ、追加します。

詳細を開き2つのチェック BOX にチェックを入れ OK を押します。

セキュリティ画面にもどったら、継承可能なアクセス許可を親からこのオブジェクトに継承できるようにするにチェックを入れ OK を押します。





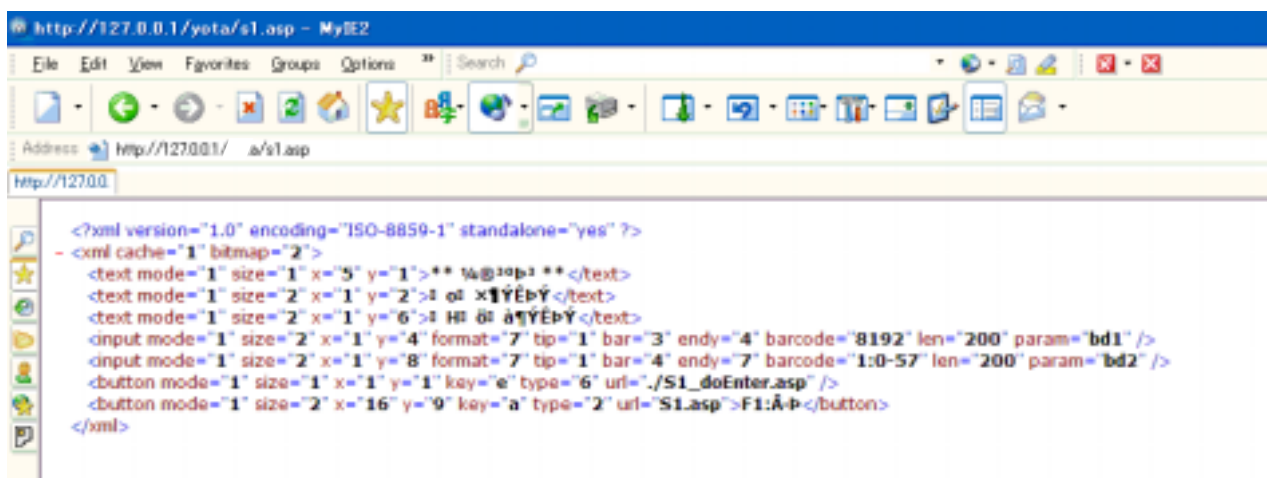
2. アプリケーションのインストール

インストール

アプリケーションを C:\inetpub\wwwroot\% にコピーします。

インストール後の確認

コピー後、「http://127.0.0.1/xxx/index.asp」としたときに下のような画面が表示されれば、インストールは正常です。



The screenshot shows a web browser window with the address bar set to http://127.0.0.1/a/s1.asp. The main content area displays the following XML code:

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1" standalone="yes" ?>
<xml cache="1" bitmap="2">
<text mode="1" size="1" x="5" y="1">** %@!p! **</text>
<text mode="1" size="2" x="1" y="2">! o! x!YÉpY</text>
<text mode="1" size="2" x="1" y="6">! H! ô! à!YÉpY</text>
<input mode="1" size="2" x="1" y="4" format="7" tip="1" bar="3" endy="4" barcode="8192" len="200" param="bd1" />
<input mode="1" size="2" x="1" y="8" format="7" tip="1" bar="4" endy="7" barcode="1:0-57" len="200" param="bd2" />
<button mode="1" size="1" x="1" y="1" key="e" type="6" url="/S1_doEnter.asp" />
<button mode="1" size="2" x="16" y="9" key="a" type="2" url="S1.asp">F1:Ã-P</button>
</xml>
```

3 . JDK 1.4 for Windows のインストール

webemulator の動作には、JAVA JDK1.4 以上をインストールする必要があります。

インストール

CD に入っている `j2sdk-1_x_x_xx-windows-i586.exe` を起動します。指示に従ってインストールを行います。

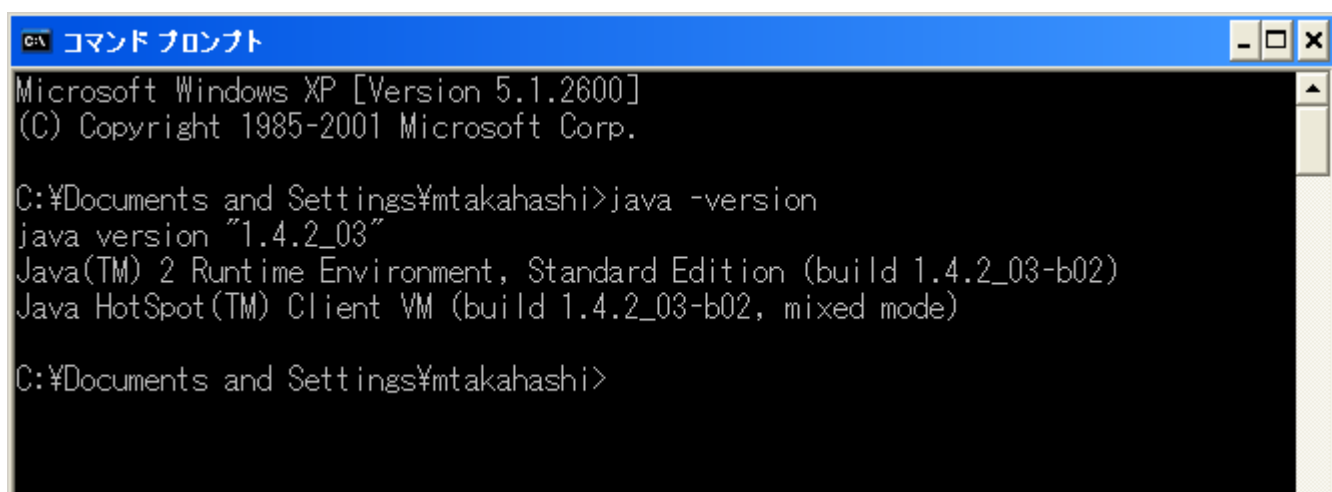
JDK インストールの確認

Java の Version を確認します。

コマンドプロンプトで

`C:¥>java version` と入力します。

下のように表示できれば、正しくインストールできています。



```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥mtakahashi>java -version
java version "1.4.2_03"
Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (build 1.4.2_03-b02)
Java HotSpot(TM) Client VM (build 1.4.2_03-b02, mixed mode)

C:¥Documents and Settings¥mtakahashi>
```

4 . WebEmulator のインストール

インストール

インストール先のディレクトリを作成します。(例 C:\WebEmulator)
 CD の WebEmulator のファイルを作成したディレクトリにコピーします。
 WebEmulator は、bin、lib、logs の3つのディレクトリで構成されています。
 インストールするときにこの構成を崩さないでください。

インストール例

C:\WebEmulator にインストールした場合

```
C:\WebEmulator\bin
                  \lib
                  \logs
```

となります。

Htconfig.xml の設定

Htconfig.xml を使用する環境に合わせて編集します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Server URL="http://127.0.0.1/ht" Port="6666" Heart_Beat_Time="30000" Max_Buffer="8192"
Debug_Mode="false" Parse_Timeout="20000">
  <Modem ID="0" Gid="1" Address="192.168.0.253" Port="1111" status="ONLINE" Comment="TEST Modem 2" />
  <HT_Group URL="http://127.0.0.1/ht/syogo" LBound="1" UBound="5" Comment="" /> -----
  <HT_Group URL="http://127.0.0.1/ht/kepin" LBound="10" UBound="15" Comment="" /> -----
</Server>
```

Server Url	--- ハンディアプリケーションディレクトリを指定します。
Heart_Beat_Time	--- モデムとの回線確認をする間隔を設定します。
Max_Buffer	--- モデムに割りてるバッファ量を指定します。(YSM-2400 の場合は、8192)
Debug_Mode	--- false/true を指定します。True にすると詳細な通信情報を出力します。
Parse_Timeout	--- web ページからのタイムアウトを設定します。単位は msec です。
Modem ID / Gid	--- モデムの ID およびグループ番号を設定します。
Address	--- モデムの IP アドレスを設定します。
Port	--- モデムのポート番号を設定します。
Status	--- ONLINE / OFFLINE を設定します。"ONLINE" でモデムとの通信が有効になり、"OFFLINE" で通信を停止します。
Comment	--- 任意のコメントを入れることができます。

、 の行は、1 台のモデムで複数のアプリケーションに対応するときに使います。
 ハンディターミナルのグループ番号で対応するアプリケーションの切り替えが行えます。



HT_Group URL --- 実行するアプリケーションのディレクトリを指定します。
Lbound --- グループの下限を設定します。
Ubound --- グループの上限を設定します。

上の例では、グループ番号が1から5のハンディは、“http://127.0.0.1/ht/syogo”の処理を行い、グループ番号が10から15のハンディは、“http://127.0.0.1/ht/keppin”の処理を行います。それ以外のグループ番号のHTはhttp://127.0.0.1/htの処理を行います。

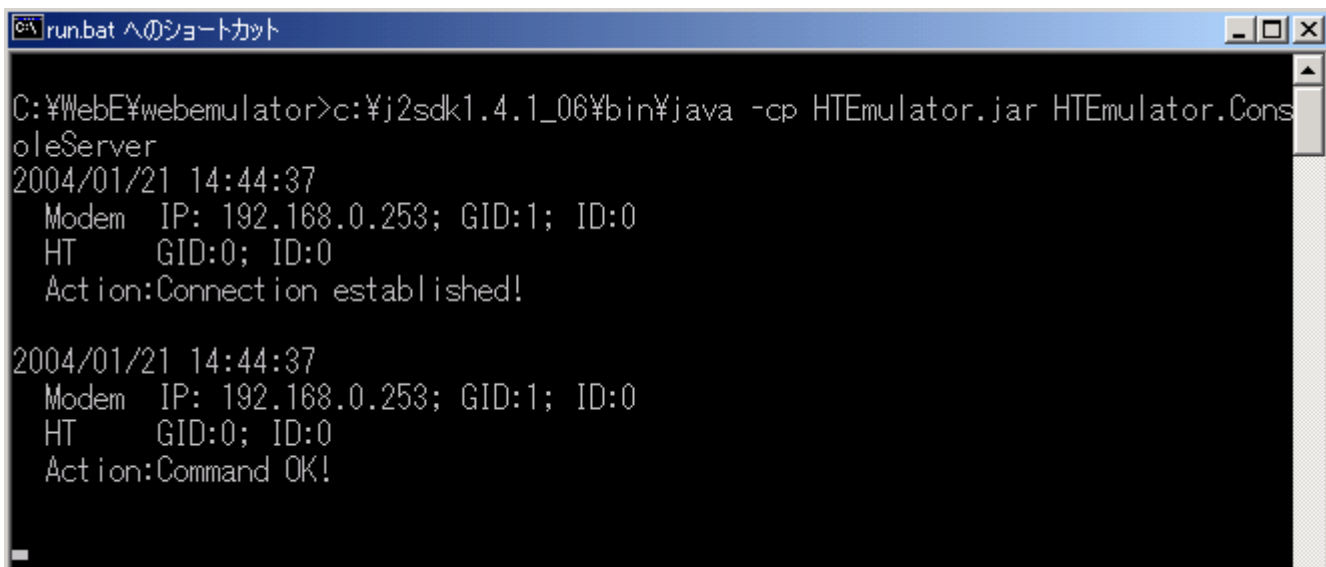


WebEmlator の起動

Run.bat で起動します。

WebEmlator 起動の確認

次のような画面が表示されれば、起動完了です。



```
C:\run.bat へのショートカット
C:¥WebE¥webemulator>c:¥j2sdk1.4.1_06¥bin¥java -cp HTEmulator.jar HTEmulator.ConsoleServer
2004/01/21 14:44:37
Modem IP: 192.168.0.253; GID:1; ID:0
HT      GID:0; ID:0
Action:Connection established!

2004/01/21 14:44:37
Modem IP: 192.168.0.253; GID:1; ID:0
HT      GID:0; ID:0
Action:Command OK!
```

